資料１

第1回部会を踏まえた議論の整理（事務局整理）

**（１）基本理念について**

　全てのひとが認め合う、いのち輝く自立支援社会づくり（当初案のとおり）

**（２）基本原則について**

ご意見を踏まえ、以下のとおり整理

【事務局案】

1. 真の共生社会・インクルーシブな社会の実現
2. 全てのひとの命と尊厳の保持
3. 障がいの有無によらない相互理解の促進
4. 誰もが担い手となる地域づくり
5. 多様な主体の強みを活かした大阪府全体の底上げ

【考え方】

・内容は当初案から大きく変更するものではなく、国連勧告を踏まえ権利についてフォーカスし、項目を並べ替え

・共通場面「地域を育む」の施策の方向性とのすみ分けの観点から、より包括的な視点に立った表現に修正

**（３）最重点施策について**

 現行計画を大筋で継承しつつ、ご意見を踏まえ以下のとおり整理

本人の意向を踏まえた多様な暮らしの実現（現行計画：「入所施設や精神科病院からの地域生活への移行の推進」）

⇒本人の状況や意向を踏まえ、入所施設や病院も含め、「誰とどこで暮らしたいか」選択できることが重要であることから、表現を修正。多様な暮らしの実現に向け、“意思決定の仕組み”“施設等のあり方”“多様な生活場所の確保”といったことも併せて議論することが必要。

障がい者の就労支援の強化

専門性の高い分野への支援の充実

⇒現行計画を大筋で継承しつつ、現行計画策定時からの変化（強度行動障がい等）について言及

**（４）共通場面について**

 ご意見を踏まえ、以下のとおり整理

1. 障がい者の権利保障
2. 障がい者の虐待の防止や差別の解消
3. 誰もが暮らしやすい環境の整備
4. 情報保障及びコミュニケーションの促進
5. 障がい者の生活を支える人材の確保・育成
6. 地域の支援力の強化